

令和2年度

事業報告書

特定非営利活動法人フードバンク八王子えがお

1 事業の成果

令和2年春からの新型コロナ感染拡大により、失業やシフト削減による収入減のため生活に困窮する世帯が増大し、フードバンクへの支援要請数が前年の3倍になった。フードドライブは会場の使用禁止で実施することができなくなったが、市民の方や企業からの食品寄贈量が増えた。えがおボックスを常設していただけるスーパーなどが増えたことで、支援要請に何とか対応することができた。子育て世帯への子ども応援プロジェクトは、夏105、冬107計212世帯に支援した。事務所兼保管場所を移転した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
フードバンク事業	* 支援のための食品確保 ・ えがおボックスの常設箇所の拡大 ・ ホームページや、Facebook、Twitterなどで協力依頼 ・ 企業からの提供 ・ 全国的な市民からの寄贈 ・ 生協などによるフードドライブ	随時	* スーパーマーケット等 * 集会所、店舗など	延べ300人			240
	* 広報 ・ えがお通信の発行 ・ 子ども応援プロジェクトの報告書発行	4月、10月 No.14、15					190
食のセーフティネット事業	* 市の相談窓口を通じて、または直接支援要請があった方々への食品支援	随時又は月1回	・ 市生活自立支援課	延べ120人	* 支援要請をした方々	延べ900世帯 約2700人	1600
	* 子ども応援プロジェクト(夏、冬)	8月、12月	・ えがお事務所	延べ40人	* 子育て世帯	延べ212世帯 約650人	2500
	* 子ども食堂への食品支援	随時 随時	・ 子ども食堂	延べ10人			
	* 厚生施設、母子支援施設への食品支援	随時	・ 市内甲府市	延べ10人	* 施設利用者	延べ500人	100
	* コロナ困りごと相談会への食品提供	2月	・ 市内		* 来訪者	60人	10

(2) その他の事業

なし